



令和 8 年度 9 月補正予算案

2026年8月25日

茨 城 県

- 中東情勢に伴うエネルギー価格高騰が続く状況下において、経済の好循環に向けて、中小企業等の資金繰りや、フィジカルA I ビジネスの創出などを支援
- 教育環境の充実など県政の諸課題へ対応するために必要な予算を計上

一般会計補正予算額 1 1 4 億 6 7 百万円

<内訳>

(1) 経済の好循環に向けた取組	1 6 億 8 4 百万円
(2) 教育環境の充実	6 4 億 9 1 百万円
(3) 県政の課題等への対応	1 億 8 5 百万円
(4) 社会資本の整備	3 1 億 7 百万円

【R8.9月補正予算額 492百万円】

(現計予算額 722百万円)

産業戦略部産業政策課金融G (029-301-3530)

賃上げに取り組む中小企業等や、中東情勢等に伴う物価高の影響を受ける中小企業等の事業継続・経営安定を図るため、新たな対象枠を創設し、信用保証料補助を拡大します。

1 新しい対象枠の創設

- ・パワーアップ融資において「賃上げ対応枠」と「物価高対応枠」を創設

2 信用保証料補助率の引上げ

- ・補助率 現行 1 割 ⇒ 5 割
- ・対象期間 2026年10月～2027年 3 月



	現行枠	【新規】賃上げ対応枠	【新規】物価高対応枠
融資限度額	設備・運転・併用：5,000万円	設備・運転・併用：5,000万円	設備・運転・併用：5,000万円
融資利率	1.9～2.2%	1.9～2.2%	1.9～2.2%
信用保証料率	0.45～1.90%	0.45～1.90%	0.45～1.90%
補助率	1 割	5 割	5 割
融資対象	売上高が5%以上減少しているなどの中小企業等	業務改善奨励金の交付決定 又は賃上げ支援金の支給決定 を受けた中小企業等	調達価格が5%以上増加している 中小企業等

いばらきフィジカルA I ビジネス創出支援事業（新規）

【R8.9月補正予算額 45百万円】

産業戦略部技術振興局技術革新課技術革新支援G（029-301-3579）

フィジカルA I の市場拡大を見据え、本県の高度なものづくり技術や大学・研究機関・ベンチャー企業等の最先端の知見を活かして、県内企業の新たな市場への参入を積極的に支援することにより、本県産業の競争力強化を図ります。

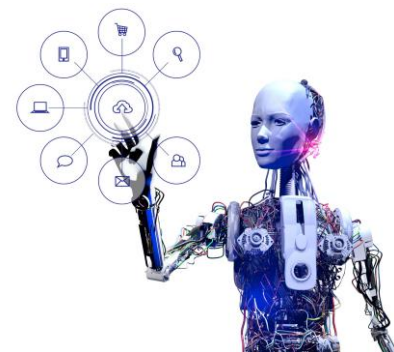
1 【触れる】最新ロボット技術の学習やアイデア創出、ビジネス機会の場づくり（15百万円）

- ロボットなどの最新技術を学び、活用アイデアを生み出すセミナーや見学会の開催
- コンソーシアム参画企業等によるマッチングイベントの開催
- 「フィジカルA I ビジネスコーディネーター」の配置
（相談対応や企業訪問によるニーズ・シーズの発掘、企業間のマッチング促進等）



2 【生み出す】ビジネス事業化に向けた共同研究や実証等の支援（30百万円）

- 事業化に向けた実証、試作品の開発、ソフトウェア開発等の経費の一部を補助
〔補助対象〕コンソーシアムに参画する企業又は企業連携体
〔対象経費〕ロボット等を活用した新たなサービス・アプリ等の開発や実証、
ロボットや、ロボット向けコンポーネント等の試作開発 等
〔補助率等〕補助率 2/3、上限 1,000万円/件（3テーマ）
※連携体での提案は優先的に採択



※画像はCopilotにより生成

【R8.9月補正予算額 297百万円】

(現計予算額 1百万円)

農林水産部漁政課企画調整G (029-301-4070)

経営・組合G (029-301-4075)

主要魚種の不漁や輸入原魚の価格高騰により、加工原材料の確保が困難となっている県内水産加工業者の負担を緊急的に緩和し、代替魚種等への転換等新たな取組を支援することで、水産加工業者の経営安定化と地域水産業の維持・活性化を図ります。

緊急の資金繰り支援・加工原材料仕入価格高騰分の補填 183百万円

主要魚種の不漁や輸入原魚の価格高騰の影響を受ける水産加工業者に対し、緊急的に資金繰りを支援するとともに、加工原材料の仕入価格高騰分の一定割合を補填し、経営の負担軽減を実施

1 制度資金の拡充

- ・ 利子補給率の引上げ及び信用保証料の補助（補助率10/10）等

2 加工原材料高騰対策支援

- ・ 加工原材料（原魚）仕入価格高騰分の1/2を補助（上限1百万円）



加工用イワシ

加工原材料高騰対策支援

新たな環境への適応に向けた経営体質転換と事業継続への支援 114百万円

代替魚種等を活用した商品開発・製造や大手食品製造業者との取引に求められる環境負荷低減のための設備投資等への支援、地元水揚げ促進のための漁場探索を実施



水産試験場 いばらき丸

漁場探索



サバ冷凍施設

代替魚種等を活用した
商品開発・製造への支援

【R8.9月補正予算額 7百万円】

営業戦略部県産品販売課畜産物・米G（029-301-3965）

物価高の影響を受けている県内食品関連事業者の、多角的な収益基盤の確立と持続的な成長の実現を図るため、欧州における日本食品ECサイトでの県産品の認知向上、販路開拓、販売拡大及び定着化に向けた取組を支援します。

○欧州の日本食品ECサイト上で県産品フェアを実施（計2回）

- ・ 期間中は、各商品を数量限定の割引（2～3割）価格で販売することで初回購入のハードルを下げ、各商品の認知向上、販路開拓、販売拡大及び定着化を支援
- ・ 実施時期：11月中旬～12月下旬、2月上旬～3月中旬
（県産品のみを集約した特設ページを設けて告知）

○各種媒体を組み合わせ、訴求の幅と質の両方を高めた広告を展開

- ・ 顧客情報に基づくダイレクトメール
- ・ サイトトップページへの特設ページバナー設置
- ・ ターゲティング広告（SNSや検索サイト等）



【R8.9月補正予算額 293百万円】

(現計予算額 60百万円)

教育庁学校教育部高校教育課高校教育改革推進室 (029-301-5204)

国の高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）を踏まえ、高等学校教育改革促進基金を活用し、公立高校の改革を先導する拠点校の整備を推進します。

- 1 水戸農業高校（実践的な農業技術や課題解決能力を有した、地域農業をリードする人財の育成）
（全体像） 生産現場に近い設備環境の整備、先進農家・大学等と連携したセミナーの開催 等
（9月補正の主なもの） 施設改修に係る設計委託費 等 112百万円
- 2 水戸工業高校（将来の産業の変化に対応できる実践力を備えた、地域産業をリードする人財の育成）
（全体像） AI等の先端技術の導入、イノベーションファクトリーの整備 等
（9月補正の主なもの） 新棟建設設計委託費 等 40百万円
- 3 つくばサイエンス高校（自ら課題を見だし、理数分野における課題解決能力を備えた人財の育成）
（全体像） 社会接続型カリキュラムの推進、ラーニングハブの整備 等
（9月補正の主なもの） 新棟建設設計委託費、教育用機器先行導入 等 98百万円
- 4 遠隔配信センター（多様な学習ニーズに対応した遠隔教育の質の保証への取組）
（全体像） 遠隔授業及び外部専門人材による資格取得講座等の配信
（9月補正の主なもの） 配信機器の先行導入 等 43百万円

